

まさえあい

No.10

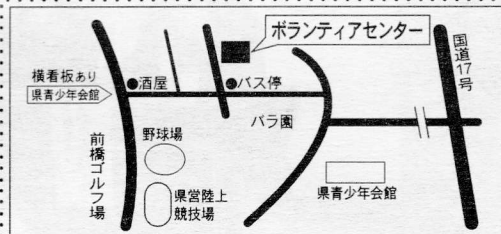
発行／前橋・在宅ケアネットワークの会

事務局 〒371-0045 前橋市緑が丘町26-1(市ボランティアセンター内)

TEL/FAX 027-235-6283

受付時間帯 9:30~12:30

郵便振替口座 00150-2-155119



第三回総会終わる

NPO法人格取得決める

梅雨の晴れ間の六月十九日(土)午後一時半から約二時間半にわたって、第三回総会とパネル討論会「語りあおう自分の老後」が開催された。

会場の前橋市福祉総合センター八階の大ホールは、三百名を収容できる設備のとのったホールである。当日の参加者は、約百二十名であった。

総会は、会長の挨拶ではじまり、来賓を代表して市長から激励の挨拶をいただき、議題に移った。まず、NPO法人格取得の必要性の説明のあと、議決を行い、賛成多数で取得する手続に入る事が決定された。次に十年度の事業報告、収支決算報告、監査報告がなされ、さらに十一年度事業計画(案)、収支予算(案)が提案され、総てが案どおりに承認され終了した。

続いて、当会の発足当初から絶大な支援を頂戴している、前橋北ロータリークラブ様と大栄信用金庫様に、感謝状の贈呈が行われた。

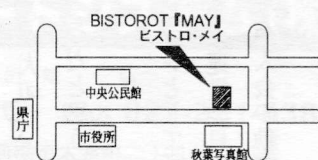
続いて、当会の発足当初から絶大な支援を頂戴している、前橋北ロータリークラブ様と大栄信用金庫様に、感謝状の贈呈が行われた。

懇親会に参加しませんか!

暑気払いをかね、大いに語り合って
会員相互の親睦を深めましょう

集まる日時 8月21日(土) 13:30~16:00
集まる所 ビストロ・メイ 221-9120
お小遣い 3,000円を用意して下さい

おいしいイタリア料理とワインの
食べ放題・飲み放題ですよ!



少休止のあと、パネル討論会となり、含畜のある意見が交わされ、盛り上がったが、やや時間不足が心残りとなった。(討論の内容を次頁に掲載する)

なお、今年度の事業計画は左欄のとおりで、介護保険の開始を念頭において事業を進めることになり、具体的作業としてNPO法人格取得に重点を置くことになった。また、十年度収支決算報告と、十一年度収支予算は最終頁にのせた。

前橋・在宅ケアネットワークの会 第三回 総会



平成11年度 事業計画

平成11年 4月24日(土)	第26回例会
5月20日(木)	第21回運営委員会・連絡員会議
6月19日(土)	第3回総会・パネル討論会
7月15日(木)	第22回運営委員会・連絡員会議
8月21日(土)	第27回例会・懇親会
9月18日(土)	第23回運営委員会・連絡員会議
10月21日(木)	第28回例会
11月12日(木)	連絡員懇親会
11月18日(木)	第24回運営委員会・連絡員会議
12月18日(土)	第29回例会
平成12年 1月22日(土)	第25回運営委員会・連絡員会議
2月17日(木)	第30回例会
3月16日(木)	第26回運営委員会・連絡員会議

以上のほか

- ①医師部会が2ヵ月に1回会合を行う
- ②企画部がNPO法人格取得及びまちづくりのための会合を行う
- ③講習研修部会が講習会実施の検討会を計画する
- ④各地区の懇談会は、各地区ごとに計画する

ル会 パネル 討論

『語りあおう 自分の老後』

六月十九日の第三回総会では、記念企画として「語りあおう 自分の老後」と題し、次の六氏によるパネル討論会を行いました。内容豊富な討論でした。



・萩原弥惣次氏／前橋市長

・大橋利雄氏／前県高齢政策課長

・大沢佐和子氏／ボランティア

・谷村正氏／群馬TV常務取締役

・清水秀夫氏／ほのぼの荘副施設長

・コーディネーター／斎藤浩

以下、その要旨を報告します。

*

斎藤／まず市長に行政と市民が協力してゆく上で何が大切かを伺いたい。

萩原／二つ経験をお話する。十三年前、

県議時代に障害者のパラリンピック京都大会に選手と参加した。大勢の観衆の前で、健常者で大男の私は、観衆が自分はどこに障害をもっているのかと不審に見られているような気がして、恥ずかしいと思った。しかしこれは障害者に対する差別意識と気付き、夜、宿舎で選手らに率直に自己批判して詫びると選手全員が涙ながらに理解してくれ、以後、運営がスムーズにいったことがある。もう一つ、私は特養ホームを二か所設立してきたが、ホームでお年寄りと話すと、最初はこんないいところへ入れて貰って幸せだということ。しかしこれは建て前で、しばらくつき

あつてゆくと、必ず、孫と一緒に家で暮らせればなあと本音がでる。私は本音で語りあう事が大事だと思う。建て前でお年寄りや障害者と接するのではなく、本音で同じ立場で接することが大切だと思う。本会の活動でも同じことがいえるのではないか。議会でも私はそうしているが、介護保険の問題でも、やはり本音で対処してゆくことが制度の改善につながってゆくものと思っている。

*

斎藤／福祉行政の現場を長く歩まれた

大橋さん。地域福祉で最も大切なことを伺いたい。

大橋／萩原市長の「本音で」の提案、その通りだと思う。行政の場合、与えられた部分を受け持っており、組織、予算などの制約から市民との信頼関係を築き、本音を引きだし本気で相手の立場にたった仕事をするのは困難な事が多い。私の失敗の経験をお話したい。二十年前の話。結核で生活保護を受けていたAさん。二十七年間、別れていた姉さんが東北のどこかにいるというので探した。山形県の居所をつきとめると、会いたいということになり、交通費を社協の寄付などで賄い面会の場にも同席した。以後文通、電話で交流するうち山形のお姉さんが一緒に住み

たいといい姉妹が同居した。ある時、借りていた農家の納屋の屋根が台風で飛んでしまい、私は二人の住まい探しに力をいれた。住宅さえあれば入所は必要のないケースだった。そこに地区の民生委員から施設に入れるべきだと圧力がかかった。さまざまな努力をしたが、結局、二人は老人ホームに入所することになり、順に亡くなったが、私には忘れられない出来事になった。もう少し踏ん張れなかったか、本人の気持ちにそって支えられなかったかと悔やみ悩んだ。現場で担当者が人間の尊厳と向き合い、組織内外のさまざまな問題があつても、現状から引き下がることなく半歩でも前進にむけ踏ん張ることが大切だと反省をこめて思っている。これなしに行政は市民からの信頼は得られない。介護保険の設計がいま問題になっているが、ここでも援助する側が人間の尊厳を基礎において、どれだけの援助ができるかを具体的に事実をもとに考えることが大切で、これは本会の活動目標の一つだと思う。

*

斎藤／谷村さんはテレビマンとして活躍のかたわら、本会の運営委員も

されている。本会への入会の動機

と期待を伺いたい。

谷村／私は三年前、急に心臓を患い斎

藤先生にお世話になった。群テレは開局当時、赤字経営だったが、現在は黒字となり積極経営に転じようと思った矢先の病気だった。それまで食べたい時に食べ、飲みたい時飲み、やりたいだけ仕事をしていたのだが、急な病気で人生観が変わった。これを機に生活を見直そうと思ったところに斎藤先生から本会に誘われた。社歴も長くなり、子供も育ち上り夫婦二人の老後を考えると、金を貯めるだけではダメで心身ともに健康でないといけない。放送は福祉と縁遠いようだが、マスコミが果たすべき役割は大きい。放送業界では数年前にデジタル化の波が訪れ、群馬TVでも多チャンネルを獲得するが、何を市民に伝えるかが問われている。少子化、高齢化といわれ、このアナウンス効果で年金なども心配され、これが経済不況の一因とされているが、市民生活の安心が消費拡大につながる。幸い本市の萩原市長はビジョンをたくさんもっている、これをバックアップし、本会のような市民活動がスムーズに展開できるように応援したいと考えている。

斎藤 清水さんは福祉施設の最先端をずっと走ってきた。先日、ほのぼのの荘に寄ったら設立時よりまた磨きがかかっていた。最近の施設の

現状について感想を伺いたい。

清水 ほのぼの荘を褒めて貰ったが、まあまあのところかと思っている。しかし、二十五年間施設で働いてきて五十歳になるが、一生懸命よい施設づくりに励んだつもりだが、さて自分がここで世話になるかといえば、そうは思えない。施設で暮らすということは外から見ただけでは分からない。建物、設備が立派だから内容がよいとは限らない。今朝の新聞に尾島町の調査で七割強の人が在宅での介護を希望しているとあったが、回答者の多くは、介護家族の苦勞を考えていないと思う。一方、施設でお年寄りをみても、自らの老いの姿をきちんと考えてきた人は少ない。介護保険の導入で介護の社会化とよくいわれるが、本当に社会が介護を全部を支えてくれるかといえば、とうてい無理だ。これに気付き、老いの設計を他人まかせにせず、自分たちで考える人が増えてきた。過去、在宅で支えられなくなった次は施設でと考えられたのだが、こうした状況から在宅から施設との間に、もっと人々が知恵を出した多様な老人の暮らし方が生まれてくるような気がしている。

*

斎藤 前橋のボランティアの草分けの大沢さん。ご自身の老後について。

大沢 私のボランティア活動は生きがいであり、学びの場だと思っている。料理と裁縫教室から始めた活動だが、お世話をするというよりお年寄りから教えて貰ったことの方がずっと多い。長年の活動で多くのお年寄りと施設や在宅の場でお付き合いし、さまざまな人生観や生き方を学ばせて貰った。パネラーの中で私が一番高齢と思うが、二人暮らしの主人はその私より十八歳年上で話題になるのはいつも健康のこと。主人は病気がちだったが今では市内からサイクリングで群馬の森まで遠征している。この元気のあるうちは大丈夫だと思っている。先日読んだ本に、アメリカのミシガン大学の研究で、ボランティアをやっている人はやってない人に比べて長生きすると書いてあった。人の役に立っているという意識が生きてゆく原動力になり、病気に対する免疫力がつくということらしい。その通りだと思う。老後を考える、と、病気や痴呆、最後には死を考えなくてはならないが、最後まで健康でいられるようボランティア活動を続けたい。そして万一の時のために行政サービスや在宅ネットワークのささえあいを充実し支えられるような環境を整えておきたいと思っている。私たちのグループは十八名の仲間が活動中で、毎

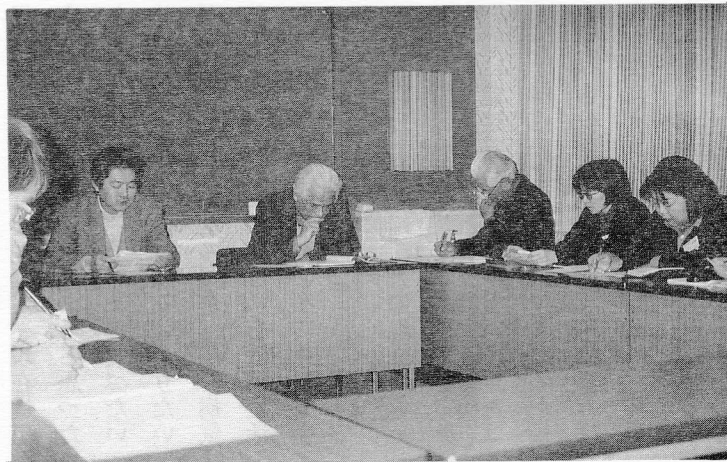


日曜日ごとにローテーションを組んで施設や個人のお宅で活動し、お年寄りに喜んで貰っているが、仲間とは、ボランティアをやるだけでなく、自分たちの老後をささえあうことも考えている。ゆくゆくは仲間どうしで援助しあえるグループホームのようなものをつくって暮らそうと話し合っているところだ。

*

このほか健康の大切さ、かかりつけ医、高齢者の共同住宅の構想、福祉と経済効果などについて活発に意見交換されました。紙面都合での省略をお許し下さい。(ささえあい編集委員会)

講演をする滝沢康先生（左の若い人）



“開業医の講演を聞く”

東地区 書記

飯野 千枝子

東地区では第十二回例会の折に、地区内の開業医である滝沢康先生（形成外科）にお話をさせていただきました。

先生は癌治療について、日本及びアメリカの病院で豊富な経験をお積みになっておられます。『抗癌剤（化学療法）について』と題してお話でした。「私の話は一般論ではなく、あく迄も経験を通しての話です」と前おきをされて、次のようなお話をなされました。

「癌の治療には手術と抗癌剤（化学療法）と放射線治療の三つの柱がある。それを如何に組み合わせて治療するか。

抗癌剤については、量や使い方など多様であり、それぞれの医師によって方針が違い治療も異なる。患者は抗癌剤を投与されることによって、副作用で苦しみ拒否する場合があります。治療が来なくなってしまう。その場合患者は癌難民の状態になってしまう。或は逆に総てを医師に一任するケースもある。その中間が少ないのが現状である。このような状態の原因には、家族に十分な情報が無いことと、患者とのインフォームドコンセントのむずかしさがあるげられる。

抗癌剤を使う場合は病状を告知することが大事であり、患者が病状を受容し、やる気になって治療を受けることが望ましい。病院側では今迄の治療成

績や、生存期間はどうか等のデータを用意して、患者に知らせる必要がある。

患者は治療を受けるに当って、一般的な方法なのか、治験的な方法なのか、その場合の治療効果はどの位あるのか、主治医の経験年数はどの位なのか等を聞き、医師を選ぶことが出来るのである。

欧米の患者はインターネットを使って、どの病院はどんな薬を使っているのか、どのような放射線治療をしているかを調べて病院を選択している。医師は横の連携を持って治療に当たっている。

日本でも医師と患者が上下の関係でなく、歩み寄り情報を話しあえる状態になれば良いと思う。そして自分の力を考え、出来ないものは出来ないし伝えなければならぬ。それは決して恥ではない。各部の医師がチームを組んで、横のつながりを作り治療に当れたら、患者は幸である。

私には専門分野外の癌治療は出来ないが、速く適確な治療をどの病院で受けければ良いなどを、近隣の皆様に出来る限りアドバイスしたいと思う。

以上のようなお話でした。地域内に立派な医師がいて下さることを、とても力強く思いました。

回線問屋

NETWORK SOLUTION COMPANY

オフィスにおけるネットワークコンピューティングを強力にサポート！

システム・アルファは豊富な経験と実績をバックボーンに
Computer & Network でオフィスの明日を創造する企業です



システム・アルファ株式会社

本社：前橋市大友町2-23-5 TEL 027-253-1800
太田支社：太田市飯田町1053 OKビル TEL 0276-45-5568

好評発売中



高級車は、いつも
大きいものと信じていませんか。



「進歩」という名の“小さな”高級車。
プログレ。

PROGRES

NC250 車両本体価格 3,100,000円
NC300 車両本体価格 3,500,000円

お客様相談フリーダイヤル ☎ 0120-29-5123

お客様とのふれあいを大切にする

群馬トヨペット

本社 〒371-0841 前橋市石倉町2-6-5 TEL 027-251-5111(代)

編集長訪問

病みつつも

数々の俳句

くらばやし

「寝たきりの長期療養中の八十八歳女性が平成六年ごろからホームドクター（斎藤浩会長）に俳句を作ってくれている。いまでも続いている」という情報を得てこの程取材しました。その概況を記します。



夫の米寿を祝って、パチリ。

「俳句は好きで若い頃からやっていました」「褒められる程うまくはないが斎藤先生が好意を示してくれるので、何句かお渡ししました」
 「もう今は、出来ません」等を自分の意思をはっきり話してくれました。
 そばで真剣に介護を

その話題の人とは、市内関根町に住む八十八歳の女性で、家族は九十一歳の夫と、お嫁さんの三人暮らし。

平成四年ごろから「うつ病状態」となり、その後骨粗鬆症の併発したが、二夫婦なか良く生活をしていた。夫の米寿祝もすませた直後に大黒柱の長男が突然死し、大きなショックを受けた女性は、その後転んで骨折し寝たきりとなる。現在はお嫁さんと近くに住む娘さんと新宅のお嫁さん等に面倒を見てもらい、週に一度の訪問看護を受けている。

☆訪問取材の状況

奥の寝室のベットに寝たきりとなり眼をつぶったままの状態でしたが、来意を告げると、眼をぱっちり開けて、やや小声ながら

続けているお嫁さんの協力を得て、本人が書き続けている（現在はお嫁さんが記録している）ノート等も拝見させてもらい、米寿祝の写真もお借りし、再会を誓い合って取材を終わりました。

目についた秀句を次に掲載します。

◇紫の小花が似合う萩の花

(8・9・18)

◇風やみて闇夜に遠くサイレンの音

(8・11・13)

◇もてあます夜長の夢の繰り返し

(8・11・20)

◇もろこしの葉ずれに秋の生れけり

(9・6・9)

◇草むらに待ちかまえたり蜂のやつ

(9・8・4)

◇香わし梅の香りや嫁御りよう

◇初雪や花嫁衣しよう華やかに

◇ちちろ虫縁の下なる住居かな

◇大ざくら小桜まじえ花ざかり

(11・4・6)

追記

七月四日、その後の状況を電話取材したところ、昨日訪問看護の際に七夕飾りをいただき、それに反応して
 ◇華やかな七夕飾有り難う
 と暫くぶりに作句した、とお嫁さんから嬉しい便りが届きました。

地域の情報 リアルタイムで!!

モーニングインフォメーション

あさいち・朝生・情報通
 月曜～金曜あさ6:55～

お昼のインフォメーション

ふれ愛
 コーポ
 月曜～金曜
 ひる0:00～

GTVニュース
 ジャストナウ 600 630 930
 ●日曜ニュース&スポーツ
 夕方6:00～

夢・かたち・未来ステーション

群馬テレビ

おまかせ下さい防犯・防災

機械警備

ホームセキュリティ



施設警備

警備輸送

群馬総合ガードシステム(株)

代表取締役 川崎 弘

☎ 027-252-5454(代) FAX 027-251-8388

本社 〒371-0854 前橋市大渡町二丁目1番地の5

平成11年度 予算

11年4月～12年3月

収入の部 項目	金 額
年 会 費	600,000
寄 付 金	200,000
募 金	700,000
募 金 箱	100,000
雑 収 入	200,000
前年度繰越金	804,422
計	2,604,422

平成10年度 収支決算報告

H10年4月～11年3月

収入の部 項目	金 額
年 会 費	572,580
寄 付 金	181,000
募 金	647,500
募 金 箱	121,559
利 子	660
雑 収 入	220,000
前年度繰越金	1,351,516
計	3,094,815

支出の部 項目	金 額
人 件 費	800,000
事 務 費	755,000
(旅費)	50,000
(事務用品費)	150,000
(コピー料)	90,000
(通信料)	450,000
(手数料)	15,000
事 業 費	930,000
(会議費)	250,000
(会費)	20,000
(広報)	500,000
(研修会費)	30,000
(講演会費)	50,000
(交際費)	50,000
(雑費)	30,000
予 備 費	119,422
計	2,604,422

支出の部 項目	金 額
人件費(賃金)	720,000
事 務 費	534,202
(旅費)	32,100
(事務用品費)	26,788
(コピー料)	88,116
(通信費)	312,169
(備品費)	37,180
(手数料)	18,320
(雑費)	19,529
事 業 費	1,036,191
(会議費)	38,941
(研修会費)	12,760
(会費)	12,070
(講演会費)	17,000
(交際費)	10,000
(広報)	364,245
(報告書)	581,175
計	2,290,393
11年度へ繰越	804,422

■会費納入のお願い■
平成11年度会費について6月末で、約半数の方からご送金をいただいております。まだ未納の皆様には今回、再度振替用紙を同封させていただきます。

た。まだ未納の方はご送金をよろしく
お願い申し上げます。なお、郵送が相前
後した際には失礼をお詫び致します。
◆地区懇談会を応援します◆
各地区で会議や講演会を開催すると

御礼や茶菓代などの費用がかかります。
す。本会ではこれをバックアップする
ため今回の総会で、大幅に会議費の予
算をとりました。地区の懇談会の時に
はご連絡下さい。

■ささえあい募金箱にご協力を■

本会のマーク入募金箱がまだ事務所
にあります。設置していただける方、
ぜひ事務局までご連絡下さい。

■求む！事務局 応援ボランティア■

現在、事務局は月曜から金曜。午前
九時半～十二時半まで開いています。

お知らせ発行、ささえあいの送付、パ
ソコンの入力や介護相談の作業です。
「お手伝いしてもいいよ」という方
ぜひご一報下さい。

講演とシンポジウムのお誘い

仏教と医療を考える全国連絡協議会の第11回全
国大会が、9月に高崎市で開催されます。

「歩きと癒し」を総合テーマに、講演とシンポジ
ウムが行われますので、ぜひお誘い合わせの上、
ご参加下さい。

『歩きと癒し』WALK and HEALING

・基調講演

講師／大正大学学長 村中祐生 師

座長／高崎白衣大観音 慈眼院住職 橋爪良恒 師

・シンポジウム

シンポジスト／京都府舞鶴市 松尾寺住職 松尾心空 師
他2名

コーディネーター／元NHKディレクター 金光寿郎 氏

◆日時 9月5日(日) 10:00～15:10

◆会場 高崎ビューホテル

(高崎市柳川町70 TEL.027-322-1111 駐車場有)

◆参加費 2,000円(昼食代、コーヒー代含む)

主 催／仏教と医療を考える全国連絡協議会

申 込：FAX.027-261-9560 藤澤 慧

(氏名、勤務先または所属、住所、電話番号を明記)

問い合わせ (医)小島田診療所 前橋市小島田町7

TEL.027-261-0370 藤澤 慧

編集後記

六月十九日の第三回総会では、「N
PO法による法人格を取得する」こと
にきまり、予算・決算も承認された。

続いて記念企画として「語りあおう、
自分の老後」と題して、パネル討論会
が内容豊富に行われた。会場を埋めた
参加者はじっと聞き入り、割れるよう
な拍手を送っていた。筆者は脳を大き
く揺り動かされたように思う。

七月十日(土)から夏の県民交通安
全運動が展開される。運動の重点は
○シートベルトの着用徹底とチャイル
ドシート of の着用促進

○うっかり、ぼんやり運転の防止

○若者の交通事故防止
の三本柱。県警では昨年「交通ル
ール、守るあなたが守られる」をキャ
ッチフレーズに交通事故死亡事故の抑制対
策に取り組み相当の効果をあげている
というが自分の安全を他人まかせにし
ないで、私達一人ひとりが「自分の安
全は自分で守る」という意識をもつて
安全運転につとめ、安全で快適な車社
会をつくりましょう。

五月二十一日新潟佐渡トキ保護セン
ターで、国内初の人工ふ化したトキの
名前を、二日、全国の小学生グルー
プを対象に公募した中から「優優」が選
ばれた。健やかに成長して欲しい。

(くらばやし)